

## インドネシア水道に係る情報収集 No. 200802W

検索サイト	Google	実施日	2020/08/13	実施者	T. Masuoka
検索方法 : 「Indonesia Water supply」で検索					
URL ; <a href="https://blogs.worldbank.org/water/adapting-pandemic-provide-water-and-sanitation-indonesias-rural-poor">https://blogs.worldbank.org/water/adapting-pandemic-provide-water-and-sanitation-indonesias-rural-poor</a>					
<p>標題 :</p> <p>Adapting in the pandemic to provide water and sanitation to Indonesia' s rural poor</p> <p>題名 ; コロナウィルス蔓延時の対策としての安全な水と衛生設備の提供</p>					
<p>初めに</p> <p>インドネシア農村部の貧困層にとっては、COVID-19 の感染に対する基本的な予防手段である手洗いすら満足にできないという事態が、生死にかかわる問題となっている。</p> <p>☆農村部の現状 ; 安全な水と衛生設備の不備。</p> <p>3500 万人 (農村人口の 18%) は安全な水を利用できない 7000 万人 (農村人口の 36%) はトイレが不足している</p> <p>農村部の貧困層の人々にとって、定期的に手を洗い、より多くの水を飲み、清潔に排泄をするという作業は、単なる疾病の予防手段の履行では済まない重労働であり、女性たちへの過度な負担となる。</p> <p>そのような状況下、PAMSIMAS プログラムを通じての取組みの成果について紹介。</p> <p>1. PAMSIMAS プログラム (インドネシア最大の農村部水プロジェクト) について。</p> <p>1) 活動による成果 ;</p> <p>簡易水道施設等の利用 ; 1,900 万人 簡易衛生設備等の利用 ; 1,550 万人以上。</p> <p>2) 活動方針 ; ボトムアップ型の参加型アプローチを採用。インフラの整備だけではなくコミュニティへの権限移譲、地方自治体の能力向上促進をはかる。</p> <p>3) 活動内容 ;</p> <p>① プログラム導入に向けた、開かれた農村の実現。 ② 参加者による計画立案。 ③ 参加者による部材調達と建設、および建設後の管理。</p> <p>4) 現在の状況 ; 362 地区の 5,021 の村で障害者、高齢者、生活困窮者の為の活動も実施。</p>					

2. PAMSIMAS 活動における COVID-19 への対応。

それまでの取組みの継続と共に、スタッフとコミュニティの感染防止が主要な焦点。

活動内容

- 1) 対面型のワークショップや研修活動を、オンラインや電話の作業へ変更。
- 2) 建設作業員は、1グループ5人以下で社会的距離を保ちながら作業を実施。
- 3) 公共の場での手洗い場の増設、スタッフへの個人用保護具の提供のための資金供給。

3. PAMSIMAS への政府の対応。

PAMSIMAS は政府によって、“Padat Karya”（労働集約型活動）として分類されている。

このプログラムの下では、政府は資金を供給し、コミュニティは資材や労働力を現地で調達する。このような活動は地方経済の活性化につながり、政府の規則（Guideline Juknis Covid 19）によって公認されている。

最後に；

これらの対策の効果を判断するにはまだ時機尚早だが、インドネシア政府と世界銀行は貧困層や脆弱な人々がこの危機に効果的に立ち向かえるよう継続的な努力を続けている。

備考

PAMSIMAS ; Water Supply and Sanitation for Low Income Communities

全国の農村地域の約 5,000 の未給水地域への簡易水道施設や簡易衛生施設の設置を目的とした世銀支援による、約 160 億円規模の無償プロジェクト。